

青少年育成県民会議の広報紙



せっぺとべ

『せっぺとべ』とは精一杯がんばれの意味



「第45回少年の主張鹿児島県大会」

最優秀賞に箕輪碧泉さん（いちき串木野市立串木野西中学校3年）

令和5年度 第45回 少年の主張鹿児島県大会

主催：鹿児島県 鹿児島県青少年育成県民会議 独立行政法人国立青少年教育振興機構 共催：鹿児島県教育委員会 鹿児島県私立中学高等学校協会



鹿児島県及び青少年育成県民会議主催の「第45回少年の主張鹿児島県大会」を8月6日（日）、鹿児島県青少年会館大ホールで開催しました。

今年度の大会には、34中学校から1,925点の応募があり、校内審査と県民会議の一次審査で選出された10名の皆さん、主張発表を行いました。審査の結果、「循環型社会に向けての責任」の題名で発表した串木野西中学校3年箕輪碧泉さんが最優秀賞に選ばされました。

なお、県民会議では、最優秀賞の箕輪碧泉さんを「少年の主張全国大会」（11月12日（日）開催）の鹿児島県代表者として推薦しました。

(入賞者一覧を4ページに掲載)

主な内容

・若者への期待（NHK鹿児島放送局 アナウンサー 白鳥 哲也さん）	2
・11月「郷土に学び・育む青少年運動」強調月間	2
・令和5年度鹿児島県青少年育成県民会議総会・青少年育成県民会議表彰	3
・第45回「少年の主張鹿児島県大会」入賞者一覧	4
・「SDGs ×100人の村」ワークショップ	4
・児童虐待防止推進月間広報	5
・かごしま子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）	5
・青少年会館の仲間たち（鹿児島大学学友会吹奏楽団・鹿児島野外活動カウンセラー協会）	5
・われらの団体・グループは今（いきいき竹島スクール、霧島市少年少女合唱団）	6
・私の地域活動（長島町 「若葉会 子ども見守り隊」隊長 濱崎 敏彦さん）	7
・わがまちの青少年育成（天城町）	8



若者への期待 すべては将来につながっている

NHK鹿児島放送局

アナウンサー 白鳥哲也

(昭和61年第8回少年の主張県大会最優秀賞受賞)

遡ること40年近く前、中学2年生のときに、青少年育成国民会議主催の少年の主張全国大会に出場しました。小学6年で手話を学び始めた動機や聴覚障害者との交流のなかでの気づき、将来、福祉の現場で役立てられたら…という思いなどをすべて手話を交えて発表し、思いがけず文部大臣賞を受賞しました。結果的にはいまNHKアナウンサーという道を歩んでいますが、思えば、多くの人の前で自分の思いを相手に届けることの難しさと面白さを感じた原体験だったかも知れません。NHKに入り、初任地の長崎でお茶の稽古を始めたところ、茶道の盛んな京都に転勤になりました。京都で縁あって句会に通い始めると、今度は俳句のまち松山に異動に。いずれもその時に「面白そうだな」と感じて始めた私的な趣味でしたが、その後の仕事でも大いに役立ちました。人生において無駄な経験などひとつもない。まさにその通りだと思います。

興味関心の赴くままに気にならたりあえずやってみる。そんな思考になったのは両親のおかげです。水泳などの習い事やボーイスカウトの社会活動など、私がやってみたいと言ったことを、家計をやりくりしながら体験させてくれました。その経験が、自信や自己肯定感へつながり、今の人格形成に影響したのだと思います。鹿児島の若者たちが、より夢中になれるものを探し自分の得意なことを増やしていく、そのサポートをNHKの日々の放送を通じて続けていこうと思います。

ふるさと 「郷土に学び・育む青少年運動」強調月間（11月1日～11月30日）

…内閣府「子供・若者育成支援強調月間」

【運動の基本的な進め方】

学校、職場、地域、関係機関・団体等は、青少年育成は家庭が基本であるという認識のもとに、鹿児島の教育的伝統と風土を生かしながら、それぞれの実情に応じた取組を、独自に、又は相互に連携して実施しましょう。

市町村及び青少年育成市町村民会議は、青少年育成コーディネーターを中心に、具体的な実施計画等を作成するとともに、市町村民会議の機能を強化し、市町村民総ぐるみで本運動が展開できるように効果的な推進を図りましょう。

校区青少年育成組織等は、青少年育成推進員を中心に、学校、PTA、警察、青少年育成団体、自治公民館、高齢者団体、地域女性団体、NPO団体、ボランティア団体等と緊密な連携を図り、本運動の周知を図るとともに、地域が一体となった青少年育成活動を推進しましょう。

家庭は、「早寝早起き朝ごはん」国民運動の実践など、基本的な生活習慣の育成に努めるとともに、「家庭の日」（毎月第3日曜日）、「育児の日」（毎月19日）を中心に、家族での語り合いや親子のふれあいを実践しましょう。

学校は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間等を通して、地域の方々に「かごしまの教育」や「青少年の健全育成」について一層の周知を図りましょう。

職場は、「ワークライフバランス」を推奨し、勤労青少年に働く喜びを与える職場づくりに努めるとともに、「家庭の日」、「育児の日」の子どもへの関わりや「青少年育成の日」（毎月第3土曜日）等に行われる青少年育成活動への参加を奨励・支援しましょう。

地域は、「青少年育成の日」（毎月第3土曜日）を中心に、かごしま地域塾や子ども会活動など地域の特色を生かした青少年育成活動を支援・実施しましょう。

関係機関・団体等は、行政と民間団体等が緊密に連携し、地域ぐるみで青少年を育む気運を盛り上げ、活発な青少年育成活動が展開されるよう運動の推進を図りましょう。

令和5年度鹿児島県青少年育成県民会議総会・県民会議表彰



開会の挨拶 (原之園副会長)



県民会議表彰受賞者の皆様



西野将大氏による講演

6月8日(木)、鹿児島県青少年育成県民会議総会を、市町村民会議や青少年団体、青少年育成団体等の関係者の出席のもと、県青少年会館で開催しました。

本年度の総会においても、青少年を取り巻く社会環境への対応や青少年育成支援の重要性を出席者一同が再認識し、今後も、それぞれの立場において、より積極的に活動することを確認しました。

また、併せて長年、青少年育成に貢献された個人・団体に対する県民会議表彰並びに鹿児島きょうだいの会代表の西野将大氏による講演会「ヤングケアラー・きょうだいを知る～きょうだいのホンネ～」が行われました。

青少年育成県民会議表彰 (5個人・4団体) 敬称略

青少年育成指導者の部	上舞 啓一郎 (南さつま市)	眞鍋 勝利 (出水市)	中村 學 (姶良市)
	平成17年から南さつま市や川畠校区で青少年健全育成活動に関わり、現在、南さつま市の青少年健全育成指導者や青少年育成センター運営協議会副会長、いはる歌に学ぶ市民会議副会長として活躍され、企画・運営・開催において中心的な役割を果たしている。また、それぞれの立場で補導活動や相談活動・環境浄化活動等を行っている。	平成2年に安原子ども会育成会に入会以降、米ノ津東小学校PTA会長、米ノ津東地区子ども会育成連絡協議会会长、青少年育成推進協議会会长等を歴任し、青少年育成及び地域づくりに尽力した。 昨年58歳で急死されたが、亡くなる直前まで子ども会活動を継続され、その真摯に取り組む姿は、地域の後進の良き模範となっていた。	平成2年に建昌子ども会育成会会長に就任し、平成22年には姶良市子ども会育成連絡協議会副会長に就任し、市子連の組織づくりをはじめ、新市子連の振興発展に大きく貢献した。 さらに、姶良校区コミュニティ協議会青少年育成部長や姶良市青少年育成コーディネーターを務めるなど、青少年健全育成をはじめとして、社会教育への功績も顕著である。
青少年団体・グループの部	坂元 美子 (湧水町)	松山 みち子 (鹿屋市)	
	小学校を退職後、不登校やひきこもり、学業などについて、保護者からの悩み相談を受ける活動を始めた。平成16年に湧水町更生保護女性会に入会し、永年にわたり副会長として、「青少年に母の愛を」のスローガンのもと、子育て支援やボランティア活動、更生保護活動に積極的に携わり、会員の良き手本となり、厚い信頼を得てきた。	環境カウンセラー、森林インストラクター、青少年育成アドバイザーなど、多くの資格を取得し、県内の各学校でエコ活動・環境教育の指導等を行っている。 また、中学生への弓道の指導や鹿屋市民生児童委員の活動の他、県青少年育成アドバイザー連絡協議会の会員としても児童生徒への声かけや見守り等に取り組んでおり、地域の信頼も得ている。	
青少年育成団体の部	市来若者隊 (いちき串木野市)	日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団 (南種子町)	
	平成12年に若者が地域活性化に寄与する目的で発足して以来、多くの地域行事やボランティア活動に積極的に関わりながら、会員相互の親睦を図るとともに青少年の健全育成に取り組んでいる。 照島海岸でのビーチバレー大会や小学生を対象にしたビーチフラッグ大会等を主催したり、海岸清掃、クリスマス会などで小中学生とも親睦を深めたりしている。	幅広い異年齢集団で構成され、宇宙・科学への探究心を育む郷土学習、農業体験や全国の子供たちとの交流等をとおして、次世代を担う健全な青少年を育成するために設立された。 種子島の学校枠を超えた会員が幅広い交友関係を築きながら、地域愛を持ち、ふるさとの活性化に寄与できる人材育成の場としても、重要な役割を果たしている。	
王子町鉦踊り・銭太鼓保存会 (鹿屋市)	奄美市更生保護女性会 (奄美市)		
平成2年4月に結成され、町内に長年伝わっている伝統芸能の鉦踊りと銭太鼓の保存継承を目的に、小学生から大人の幅広い世代が関わり活動している団体である。 毎年、豊作祈願の水神祭で踊りを奉納している。また、小学校で出前授業を行ったり、町内福祉大会において踊りの披露を行ったり、普及啓発・継承活動に積極的に取り組んでいる。	平成6年の設立時より、「青少年に母の愛を」の精神を基に、行政や関係機関団体と連携し、更生保護活動はもとより、青少年育成・非行防止・子育て支援活動を実践している団体である。 奄美市内小中学校での登校時の愛の声かけ運動やゆづり葉の郷・あしたば園などの養護施設等の行事に参加しての交流活動などを行い、子どもたちの健全育成に尽力している。		

令和5年度「第45回少年の主張鹿児島県大会」開催



箕輪碧泉さんの発表（最優秀賞）



講評（原之園審査委員長挨拶）

入賞者【優秀賞・優良賞は五十音順】

(敬称略)

賞	氏名	学校名	学年	題名	賞	氏名	学校名	学年	題名
最優秀賞	箕輪 碧泉	いちき串木野市立串木野西中学校	3	循環型社会に向けての責任	優良賞	坂口 陽基	鹿屋市立鹿屋中学校	2	GIGAスクール構想の影響について
優秀賞	片平 百音	鹿児島市立南中学校	2	煮物な日々に	//	末永ひより	鹿児島市立紫原中学校	2	自分が好きな自分
//	田中 悠鈴	薩摩川内市立祁答院中学校	3	私のめざす天使	//	元 嘉菜	瀬戸内町立古仁屋中学校	2	「自分」で生きる世界へ
優良賞	有村 好加	姶良市立加治木中学校	2	ふわふわ言葉で楽しい人生を	//	前田 歩穂	鹿屋市立串良中学校	3	普通とは
//	飯塚 玲愛	南さつま市立万世中学校	1	落花生植え三段として	//	丸田穂乃花	曾於市立財部中学校	3	かけがえのない場所

※最優秀賞受賞者は、「独立行政法人 国立青少年教育振興機構」が開催する「第45回少年の主張全国大会」の鹿児島県代表者として推薦します。

「SDGs×100人の村」ワークショップの開催

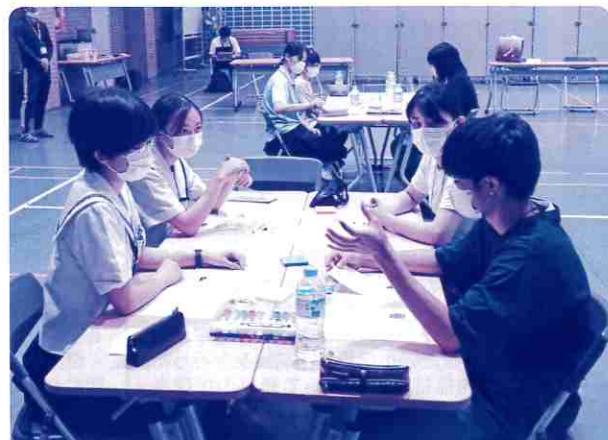
日時：令和5年8月12日（土）10:00～15:00 場所：県青少年会館

鹿児島県青少年育成県民会議では、(独) 国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金助成活動」の助成を受け、青年海外協力隊鹿児島県OB会の協力のもと、「SDGs × 100人の村」ワークショップを開催しました。

ワークショップには、県内のの中・高校生15名が参加し、世界を100人の村に例え、生活環境や教育、労働、貧困、環境問題等の世界情勢について理解を深めたほか、昼食の分配量で貧富の差を体験しました。

午後からの貿易ゲームでは、ゲームによる模擬体験をとおして、貿易が人の暮らしにどのような影響を与えていくか、また、世界の諸問題等について意見を出し合い共有することができました。

生徒の皆さんには、身近なSDGsを見つけて、持続可能な社会の実現に向け、できることから取り組んで行ってもらいたいと思います。



11月は児童虐待防止推進月間 ~地域社会全体で取り組み、解決すべき問題です~

国や県では平成16年度から、児童虐待防止法が施行された11月を「児童虐待防止推進月間」と位置づけ、社会的関心の喚起を図るために、集中的な広報・啓発活動を行っています。

児童虐待は、子どもの生命に危険を及ぼすだけでなく、心にも深い傷を残すことになります。児童虐待は、地域全体で取り組むことで、発生予防や早期発見につながります。

あなたの周りに「気になる子ども」はいませんか? 「もしかしたら」と感じたら、すぐに、市町村の児童家庭相談窓口や、県の児童相談所及び地域振興局・支庁などに連絡してください。あなたの一報で救われる子どももいます。

児童虐待とは

- 身体的虐待
- 性的虐待
- ネグレクト
- 心理的虐待

虐待防止の5箇条

- ① おかしいと感じたら迷わず連絡(通告)… 通告は義務 = 権利
- ② 「しつけのつもり…」は言い訳… 子どもの立場で判断
- ③ ひとりで抱え込まない… あなたにできることから即実行
- ④ 親の立場より子どもの立場… 子どもの命が最優先
- ⑤ 虐待はあなたの周りでも起こりうる… 特別なことではない



(参考: 厚生労働省・鹿児島県HP)

かごしま子ども・若者総合相談センター巡回相談会



かごしま子ども・若者総合相談センターでは、不登校、ひきこもり等、様々な悩みを抱える子どもや若者本人、その家族を対象とした相談会を県内各地で行っています。ひとりで抱え込まないで、まずはご相談ください。

10月以降の相談会の開催予定

- 11月17日(金)・18日(土) 屋久島町
12月13日(水) 阿久根市
1月17日(水) 錦江町
2月16日(金)・17日(土) 奄美市

相談を希望される方は、当センターへ事前に申し込んでください。
(TEL 099-257-8230)
※ホームページもあります。

青少年会館の仲間たち (青少年登録承認団体紹介)

青少年会館で青少年登録承認団体として、活動を続けている団体を紹介します。本会館の青少年団体の育成支援活動であり、現在17の団体が登録しています。本会館の利用を希望される青少年団体がありましたら、本会館2階事務所に御相談ください。(☎099-257-8226)



鹿児島大学学友会吹奏楽団



鹿児島野外活動カウンセラー協会

鹿児島大学学友会吹奏楽団では、幅広い年齢のお客様に吹奏楽の楽しさを知っていただくことを目的として、夏には吹奏楽コンクール、県内の小中学校を訪問して演奏旅行、冬には定期演奏会など、様々な行事を行っております。

様々なお客様が笑顔になれる演奏を目指し、日々活動に取り組んでいます。私たちの普段の活動の様子や行事については、InstagramやTwitterなどで発信していますのでご覧ください♪

鹿児島野外活動カウンセラー協会、通称「キャンカン」は鹿児島大学のボランティアサークルの一つです。年に3回小学生を対象にしたキャンプを主催し、キャンプを通して子どもたちに自然の大切さや身の回りの存在への感謝の気持ち、協力することの楽しさを実感してもらえるよう、週2回の定例会議を開き話し合いを重ねています。活動の様子はHPやインスタグラムでも発信しています。「鹿児島 キャンプカウンセラー」では非検索を★

▶ われらの団体・グループは今

いきいき竹島スクール [三島村]



小さな島の大名筍パワー

三島村竹島の「いきいき竹島スクール」は三島村立三島竹島学園に通う前期生7名、後期生7名、未就学児1名の計13名で活動しています。

主な活動は、毎月第3土曜日に行う空き缶回収、毎年5月頃に行う筍採り、夏のレクリエーション、敬老会、クリスマス会です。回収して潰した空き缶と筍採りで収穫した筍はいきいき竹島スクールの活動費になります。子どもたち自身で活動費をつくるという活動を通して、学校生活だけでは学ぶことのできない勤労意欲・勤労意識を育てることができます。

また、夏のレクリエーション、敬老会、クリスマス会などのイベントは、企画会議の段階から子ども主体で行われます。子どもたちで話し合って選出した代表と書記を中心に「何をするか」、「だれが担当するか」等のイベントの運営に関する話をします。近年は、コロナ禍で多くの活動が制限されていましたが、徐々にできる活動が増え、今年は例年通りの活動が行えそうです。

今後も子どもたち主体での活動を引き続き行い、次世代のリーダーとして竹島を盛り上げ、竹島の活性化に貢献したいと考えています。

霧島市少年少女合唱団 [霧島市]



「これまでも、これからも」

霧島市少年少女合唱団は今年で創立28年目を迎え、現在小学生16名、中学生6名、高校生1名の合計23名で活動しており、結成当時から3名の先生方に指導、支援をしてもらっています。

活動としては、月3回の土曜日の練習、鹿児島県少年少女合唱祭への参加、霧島市文化協会文化祭への出演、年度末のコンサートの主催等があります。

令和4年度もコロナ禍での活動制限はありました、7月には鹿児島県少年少女合唱祭霧島大会が霧島市溝辺公民館(みそめ館)で行われ、出演する団員は熱心に練習し、指導者、育成会は大会役員となり準備や連絡調整などを行い、無事に成功を収めることができました。

また、今年3月の演奏会においては、1年間の練習の成果を発表することはもちろんのこと、コロナ禍で制限されていた、霧島市少年少女合唱祭を復活し、市内の中学校2校の合唱部と音楽部に出演してもらいました。演奏会の最後には合同合唱も行い、会場の皆さんに感動を届けることが出来ました。

これからも、「仲良く楽しく、曲に込められた詩の想いを1人1人が表現する」をモットーに練習に励んでいきます。

私の地域活動



長島町
若葉会 子ども見守り隊
隊長 濱崎 敏彦さん



未来を担う子どもたちのために

長島町は、鹿児島県最北端に位置し、長島本島・伊唐島・諸浦島・獅子島ほか23の島々が点在し、豊かな自然と温暖な気候に恵まれている。人口約9,700人で、主な農産物は赤土バレイショ・甘藷・水稻が多く、水産物は養殖のブリ・真鯛・アオサが主に生産されている。今回は、長島町で子ども見守り隊の隊長を務められ、多くの青少年育成活動で活躍されておられる濱崎敏彦さんの活動を御紹介いたします。

未来を担う子どもたちのためにできることをしたい

趣味はグラウンドゴルフや素潜りといへん元気な濱崎さんです。子ども見守り隊の活動に取り組まれるようになられたきっかけは、20年ほど前に、学校・家庭・地域で子どもたちを見守ろうと、小学校の地域応援隊「城小っ子応援隊」が発足し、始められたそうです。発足当初は、参加する人も少なかったですが、お孫さんが小学校に入学したのを機会に途中から活動に加わる方も徐々に増えてきたそうです。

未来を担う子どもたちに何かしてやりたい、自分にできることをしたいと熱い心をお持ちの濱崎さんです。

子どもたちに自然体験活動の経験を

見守り活動のほかに、鬼火焚き、グラウンドゴルフ、古墳清掃や神社清掃、御八日おどりなど、子ども会行事にも協力しています。

子どもたちとの関わりの中で感じたことは、眞面目に一生懸命作業する子どもが多いですが、清掃作業など、普段、家でしたことがないのか、手先だけの作業しかできないような気がしました。子どもたちには、海での活動や川でうなぎとりとかしてほしいですが、危険ということであまり経験させていないようで、なおさら事故につながる危険性が増しているように思います。長島ならではの自然体験活動をもっと経験してほしいです。



子どもとともに育つ大人、大人とともに育つ子ども

子どもたちに期待していることは、礼儀作法、特に、あいさつをしっかりできる青少年になって欲しいことです。

また、保護者や青少年活動に関わる大人の方々には、未来を担う子どもたちのために、時間と労力をもっと提供してほしいと思います。大人の方々が率先して色々な活動に参加している姿を子どもたちに見せて欲しい。そのことが、子どもたちの自主性や郷土愛を育み、将来を担う立派な大人に成長することにつながると思います。



手本を示し、子どもたちに自信を

好きな言葉は「やってみせて 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば人は動かじ」山本五十六。

子どもは指示だけではなかなか動かないし、危険も伴うので、まずやって見せること、力のいれ具合を教えてやり、本人ができたら誉めてやることで自信を持たせると、進んでやってくれるようになると思います。

これからも、子どもたちの手本となり、体力が続く限り子どもたちを見守っていきたいです。



わがまちの青少年育成（天城町）

世界自然遺産の島で育まれる青少年活動



天城町は、奄美群島にある徳之島の町の1つ。鹿児島本土から約480kmも離れ、透き通るような海と青い空、大地は農作物で緑にあふれ、年間を通しての平均気温22.2度と過ごしやすく、闘牛やトライアスロンなどで熱気のある町です。



自然遺産ならではの体験（子ども会育成会）

徳之島の自然と生き物の生態を観察するために、川の上流で観察会を開催。自分たちの住んでいる島の生物がどのような形でどんなところにいるのか、また、自分たちの生活が生物にどのような影響を与えていたかを、実際に川に入って採取体験することで感じ、以前と比べどのように変わってきたかを学ぶことを目的としています。

島内外からも参加チャレンジ KIDS

6月24日（土）、スイム・バイク・ランで競うトライアスロンの子ども版、チャレンジKIDSを開催。徳之島トライアスロン前日ということもあり、選手の方や参加KIDSの親など多くの方が声援を送り、ゴール地点ではKIDSの勇姿を収めようとカメラでいっぱいでした。

このイベントは、海が身近にあるのに泳げない子どもに何か親しみをもってチャレンジできるものはないかと始めたもので、小学生から中学生が参加しています。今では、トライアスロン選手との交流やスポーツを通じ健全育成につながっています。



B&G 水辺の安全教室（与名間ビーチ）

水辺で楽しく安全に活動するため、夏休みに入る前に危険な行動や生物などの注意喚起の一環として、B&G水辺の安全教室を開催しています。

また、海洋性レクリエーション体験（カヌー、SUP、シュノーケリングなど）を通して、自分の命は自分で守るという事を学んでいます。



毎月第3土曜日は 「青少年育成の日」



地域活動と一緒に参加しましょう。

毎月第3日曜日は 「家庭の日」



家族を互いに思いやりましょう。

毎月19日は 「育児の日」



子育てを地域で応援しましょう。